



連載特集

秋田デステイネーション

キャンペーンに向けて①



あきたびじん

問い合わせ

商工観光課観光物産係

☎ 43 17072

今年の10月から12月までの3カ月間、秋田デステイネーションキャンペーン(秋田DC)が開催されます。日本各地の人を「わすれていた秋田」に向かわせる静かなフリース『あきたにしました。』をキャッチコピーに、キャンペーン中、県や市町村と観光に関係する各種団体が協力して、県内各地で様々な観光誘客に取り組みます。

本番を盛り上げるためのプレ秋田DCが昨年10月から12月までの3カ月間開催され、大館市でも大勢の市民の参加で、たくさんのイベントが開催されました。今年は更に大勢の皆さんに「おもてなしの心」を持って参加してもらえよう、プレ秋田DCに参加した団体へのインタビュやおもてなしに役立つコラムなどを秋田DCが終わるまで連載します。

1回目の今回は、大館市観光協会の石田雄一会長にお話を伺いました。



大館市観光協会 石田雄一会長

昨年10月から12月までの3カ月間、プレ秋田DCに関連する様々なイベントが行われましたが、中でも最大のイベント「本場大館きりたんぼまつりin大館樹海ドーム」の感想をお聞かせください。

10月13、14日に行われた「本場大館きりたんぼまつりin大館樹海ドーム」は、市民総ぐるみで取り組んだイベントであったと思います。

本場大館のきりたんぼ販売を中心に、たんぼ千本焼き、ゼロデータアートイベント、小坂鉄道レールバイクなど、来

場されたかたが飽きずに滞在できる関連イベントが開催されました。

また、市内の観光地を巡るバスツアーでは「地元の中学生などによるボランティアガイド」や「お茶の振る舞い」で、心のこもったおもてなしをしていただきました。

期間中に来場された約8万6千人に、大館の食と文化を思う存分、堪能いただけたと思います。

今年をきりたんぼまつりにどのようなことを期待しますか？

「きりたんぼまつりは、大館でしかできない、本場大館ならではのお祭りだと思います。今では県内だけでなく、様々な場所できりたんぼ鍋を食べられますが、本場においてきりたんぼ鍋を数多く食べ比べできるのは本場だからこそではないでしょうか。地域の食文化を前面に出すことができたお祭りですね。

きりたんぼまつりは秋田DCでも、目玉になるでしょう。昨年運営して分かったいろいろな問題を解消して、市民の皆さんが協力することで「来て良かった、また大館に来たい」と思っていたできるようにしたいですね。



たくさんの来場者でにぎわった「本場大館きりたんぼまつりin大館樹海ドーム」

10月6日にはプレ秋田DCキックオフイベントが行われました。

大館駅前で開催された観光関係者や駅前商店街の方々が集まって、プレ秋田DCを盛り上げていこうとキックオフイベントが開かれました。

プレ秋田DCは、3カ月もの長い期間掛けて行われましたので、皆さんがそれぞれ「全国に向けて大館の観光を発信するチャンス」をどのように進めていくか「実際にどのようなことをして観光客を迎えたいのか」などの課題